夕刊

十月十八日　發行

定價　一ヶ月金六拾五錢　郵金壹圓

廣告　一段十行　金六拾錢　五段十行　金九拾錢　二段十行　金壹圓

編輯兼發行人　水野行勝

印刷人　田中六郎

發行所　磐城新聞社

福島縣磐城郡平町字本町

電話五六四番

（日曜祭日翌日休刊）

秋をまさぐる 二

秋山豊穂

山家のあけくれ

見渡す限り廣い田に黄金底の方からかすかに湧いて來る樣なコーロギの聲が、にも稲束が架けられる。空は高く晴れて、氣せはしい野分が稲の穂並を騒がせて裏山につきあたる。

山の方からもくもくした黒い雲が出て來て見る〳〵廣い空を覆つてしまふ。『それ夕立が來る』と云ふので皆は互に急がせ合つて刈つたばかりの稲を大急ぎで家に運ぶ、庭に乾した籾もしましたり、山家のあけくれにはねばならない、遙か向ふは、嬉しいことが數々あるの丘の方が早くも眞白になつた『あゝ、あつちの丘の方はもう降り出した！。早く〳〵』一家總動員で飛び廻るうちに雨の足は早くも前に見ゆる部落までやつて來て段々白くなつてぼんやりしたと思ふ間もなくボツリ〳〵と大粒な雨が降り出した。と見る〳〵篠つく夕立雷鳴とゞろと鳴る、寔に壯絶なものである。

底ねけがしの夕立もやがて晴れて、雨戸を繰れば東の空わたり七彩の虹が弧を描く。地上のありとあらゆるものは皆洗ひ去られて葉末からはきら〳〵光る雫が絶え間ない。どもすれば苦しみと惱みと憂に曇り勝ちな我らの心まで洗ひ清めたかに思はれて、夕立の後こそ寔に爽快である。實くは世の濁も洗ひ流してくれるとよいと思ふ。

×

黄色な葉の落つくした大豆畑で、その葉の柄を拾つて、子供達がムカデや、家神樣を作つて遊ぶ頃になると、畑の隅の方でも庭先でも自然の姿を見つくし、自然の聲を聞きつくさんとする山家のあけくれは淋しい限りである、深く深く孤獨の人生を味ふことが出來た。然し自然の懐に籠つて見れば、自然は矢張り生きてゐるのであつた。廣い空に日毎に變る美しい雲それに見とれるとき、山路の散策に野菊やりんどうと思ひを一つにするとき、夕月夜の空を仰いで思索に耽るとき、秋虫のかすかな聲に聞き入るとき遙かに峯と峯との間の田圃の奥に、輝かしい夕陽が沈むそれを望むとき、かうした時に於てのみわが孤獨さは淋しさは、精練されて、そこを脱して、喜悦の生に自己を見出すのであつた。そして總ての邪念を忘れてひたすらな純情にひたる自己を見出すのであつた、そして孤獨に生き孤獨を樂しみ、寂莫に生き寂莫を樂しみそして寂莫に死んで行つた詩人芭蕉のゆかしい心境さへも或程度まで理解出來る樣な氣がするのである、自然詩人ワーズワースの詩にも隨喜の情を深くするのである。

磐城歌壇

小山田滋選

羊生　補

○悠々と旋廻り續くる愛國號はたのもしきなり輕爆擊機

○ほの白き霧にかくろひあらはれつ愛國號は町を旋廻れり

○機のすゝみこちに直れば銀翼の日の丸指して童に教ゆ

○柿の實のいろづきそめぬ朝々に眺むることの樂しみとなりぬ

○柿の實のいろづきけり冷ゆる朝は淡き水霜のおりてやあらむ

宵の街（童謡詩）

鯉淵武司

明るい灯のかげ
夜の店
梨釣り　鯉釣り
鰻釣り
ヤツシリ圍んだ
人の數
み上げりやくも間に
眺く月
ゆれる街路樹
プラターメ
風は秋風
宵の街
疲れて俺ひて
歸る子が
やさしい母の手を
振り
淡い灯影に
ねむたさう

時代警語

○當つて碎けろ……（俚諺）

自ら進んで當つて見なければ先方の意向、形狀も知る事が出來ぬ又自己の力量が何の位の程度かも試さねば知れぬのである。事をなさんとするには皆進取的の氣象を以て世に立ち而して之を持するに剛毅の力を以てせねばならぬ……

湖面の月（詩）

磯上六花

ふりあをぐ空
くも間に出づる淡き月
チラリト浮ぶ
夜風ソヨ〳〵
湖面を吹けば
小波起ち月影こはるゝ
あゝ湖面の月

俺の月桂冠

金も名も
あゝ戀もみんないらない
俺は淋しい唄をうたつて
汗にまみれて土を掘る
孤獨の獄窓にひたつて土を掘る
俺には——
温い天地の抱擁と
涯ない蒼空があるんだもの。

〈社會〉の〈今日〉

○

19日——△谷風梶之助始めて横綱となる（寛政元）

10月——△露國北樺太へ移民を許す（明治三八）△スミス少佐英壕間十日で翔破の新記錄を作る（昭和五）

柿赤しいつもぐとなき
村役場　蘭　超

秋ふかみ山のみ寺の石
疊、わが踏む下駄の音
のさやけさ

相馬　御風

色紙半折　頒布主旨

島田忠夫

童謡詩人島田忠夫君は、故島木赤彦門のアラ、ギ派歌人として夙に名あり、書技は油繪を故萬鐵五郎、金澤重治書伯に就き槐樹社展にも再度入選し、墨繪は富田溪仙、小杉放庵、森田恒友の諸家と年來交流して學ぶ所あつた。また明治の歌僧鉢眼天田愚庵和尚の資料研究に於てはまさに當代第一人者である。

同君今夏來、家人の大患に遭ふあつて茨城の海邊に滯留、憂愁やゝ久し。乃ち之を慰めんとて君の色紙及半折の頒布を企て茲に大方の御讃助を冀ふ次第である。

昭和七年秋、赤尾藤吉郎識

賛同者（順不同）

早大教授吉川喬松、元代議士赤尾藤吉郎、いはき新聞學藝部長津川公治、歌人齊藤茂吉、畫家森田恒友、醫師高久忠、茨城縣學務部長甲斐莊正顯、理學博士佐藤孝二、小說家伊藤貴麿、歌人今井邦子、童話作家千葉省三、師市原陸郎

清規

□描寫　主として墨繪のこと（書題は一任せられたし）

□（イ）色紙　金貳圓（送料共）

（ロ）半折　金五圓（表裝付同）

□會費　申込と同時に金額申受く、小爲替書留に據られたし

□頒布　申込後一ヶ月以内に發送す

□締切　色紙半折共ハ各五十口に達したる時は申込を受けす

申込所

○東京市杉並區上荻窪町三六二千葉省三方

○水戸市下市荒神町津川公治方

○茨城縣多賀郡助川町驛前町山正利方

○茨城縣多賀郡大津町市原醫院方

○福島縣石城郡平町土橋山崎與三郎方

○福島縣石城郡平町田町高久病院方

○長野縣諏訪郡米澤村田實醫院方

○長野縣上水内郡三水村横川文悦方

○茨城縣筑波郡小田村大形遠山都一方

○千葉縣千葉郡更科村川崎山口正夫方

島田忠夫　色紙半折

頒布後援會

講談　お蘭陀お蝶

（160）

渡邊默禪作

布施長春畫

『いや雪さん、實は何だあの旦那から是非つてんで、ソノね、ソレ繼の言葉を傘にそゝのかして言ふなら濡れてしつぽり心の丈をわつてろくろのゐにしさへ！、いとしい人生を味ふことが出來た。然し自然の懐に籠つて見れば、自然は矢張り生きてゐるのであつた。廣い空に日毎に變る美しい雲それに見とれるとき、山路の散策に野菊やりんどうと思ひを一つにするとき、夕月夜の空を仰いで思索に耽るとき、秋虫のかすかな聲に聞き入るとき遙かに峯と峯との間の田圃の奥に、輝かしい夕陽が沈むそれを望むとき、かうした時に於てのみわが孤獨さは淋しさは、精練されて、そこを脱して、喜悦の生に自己を見出すのであつた。そして總ての邪念を忘れてひたすらな純情にひたる自己を見出すのであつた、そして孤獨に生き孤獨を樂しみ、寂莫に生き寂莫を樂しみそして寂莫に死んで行つた詩人芭蕉のゆかしい心境さへも或程度まで理解出來る樣な氣がするのである、自然詩人ワーズワースの詩にも隨喜の情を

現つ幻の目前にちら〳〵主す』

『それぢや私を慰物にしようと思召しなんでございますか』

お柳はむつとして

『今日ふとした事から御世話をなすつて下されましたお恩を枷にして私へ、そ、そんな難題をおつしやつて弱い者いぢめをなさらうと云ふ拗藏さまのお心なんでございますか』

目は輝き聲は顫へる

『何、何でげすつて、そ、そう悪くとられると難題だあ、何んだおむうむ返しは言ひなくなるぢやげえせんか、さ、其の弱い者だから何處までも底つてやつて面倒を見ようと云ふ旦那の御意だ、そ、それが苛める者やつとはどうした虫の啼く音やから、お前えも血の廻りの惡い人だね』。

『おつしやりましたのなんのと云ふ段ぢやねえ、手取早い話は、お前さんを一生涯面倒を見てやらうと云ふんだ、見越の松に船板塀、寸法が定まつてまさあ、眉毛落して齒を染めて主の旦那に買つてもらへる當があるから燒けるなら燒けろが狂ひ、寢ては夢起きては長くなつて寢てゐられやしねえ』

『それではアノ江戸のお方が私の事について何かおつしやつたんでございますから』

『おつしやりたくもあるまい、お前さんの方が江戸の方とは違つてこんな物アいやだとほつぱり出して裸で寢たらばヤン〳〵どうでげえすえ、貳が戸迷ひ、スチャラカチ！』

善は急げ、どうで嬉しがらせておやんなせえな』

一人で止め途もなくへらついてゐる

お柳は妙な顔をして

『何で御座います、摺木でお傍へ身を寄して酒の相手なさるのつて、それは何の謎でございますか、私の樣な野暮な者にはとんと解りません』

『エヘお慌げなさんな、思はせ振りも人に依る苟も六韜三略の奥の卷まで心得居る、色道指南番、裏新道九尺二間の城守たるこの櫻川只飲の守に對して失禮でげえせう、つひした緣から心に爪彈きつてんだ、羨やましいのは露地の中、節穴から覗かれてもそうなつたら本望だらうせ、朝寢のし放題、美味しいものゝバクつき放題、芝居は替り目ごとに見られてさ、そりやお花見だ、ソリヤ納涼だ、ソリヤ火事だ、ヂャンと來ても旦那に買つてもらへる當があるから燒けるなら燒けろが狂ひ、寢ては夢起きては長くなつて寢てゐられや

ラヂオ

…十九日：〔水曜〕…

仙臺　JOHK

△前六、〇〇A　ラヂオ體操
△六、三〇　秋季國文學講座（『奥の細道』抜抄）荻原井泉水
△七、〇〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇　氣象
△九、一〇　料理献立（酢松茸、山家井）佐藤つぎ
日用品値段
△一〇、三〇　家庭講座
△正午A　時報　氣象
△後〇、〇五A　管絃樂　東京ラヂオオーケストラ指揮…瀬戸口藤吉
△〇、四〇A　ニュース
△一、五〇、五、三〇A　運動競技（六大學野球リーグ戰試合狀況…立教對帝大二回戰
△二、〇〇A　家庭大學講座（子供の習癖の診斷）帝國大助教授青木誠四郎（野球無き場合）
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△六、〇〇R（子供の時間）お話（紙）深田繁美
△六、二〇A　コドモの新聞　關屋五十二
△六、二五A　英語講座（初等科）岡倉由三郎
△六、五五A　カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇　趣味講演（奥羽地方の都市漫歩街を語る）椽内吉胤
△八、〇〇C　浪花節　敦島大藏
△八、三〇B　映畫物語（薩摩飛脚）伍東宏郎
△九、〇〇B　義太夫（三十三所觀音靈現記…澤市内の段）竹本清糸
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象

平町慶弔錄

△出生

二丁目二六東京市豊島區池袋二丁目九〇七叶多榮長男清一郎

胡麻澤一一四東京市大森區大森三丁目一五七五堀重次四男新市

長橋町四八酒井賢司長女良子

△婚姻

新川町一〇渡邊榮吉（三七）茨地縣多賀郡國本村國本上一三七四本田せつ（三三）

小川村下小川宮田一九渡邊亮信（

△死亡

二丁目二六紺野ハツ（三三）

大舘一二草野村泉崎商原佐藤スエ（三四）

二丁目五一茨城縣東茨城郡大技町八小松崎たか（五八）

北目町九東京市板橋區板橋町五丁目一七渡邊ウラ（七三）

長橋町三〇滋賀縣大上郡北青柳村中鉢二中辻ハツエ（三九）

廣告

平町南町

大和田醫院

電話一七〇番

町民諸君に御挨拶

私儀大正八年以來職を當町に奉じ町民諸君の深厚なる御援助を忝ふし候處追々老境に入り且つ健康相勝れず候に付水道擴張工事竣功を期し今回退職致候、爰に乍略儀以紙上御挨拶申上候

昭和七年十月十四日

敬具

伏見彦衛

なまし粉藥の微妙なる靈能

肺、助膜、心藏、慢性胃腸病、神經衰弱、動脈硬化、不眠症、子宮、血の道、神經リウーマチス、便祕、精力減退の人

強精強壯滋養料トシテ御試シ下サイ驚ク程効メガアリマス。

平町五丁目二十二金光堂時計店裏

井内

難波醫院

一内科

醫學博士　難波睦

平町大町新川端（電話五〇二番）

新築落成開業御披露

秋冷の候皆々樣には彌々御清祥に渉らせられ慶賀の至りに存じます。

偖て過般弊店の類燒に際しては何彼と御高配を賜はりまして誠に有り難く感謝に堪へません、爾來鋭意新築工事中の處此程愈々完成し茲に甦生の陣容を整へて再びお華客皆々樣をお迎へし最善の奉仕が出來る事になりましたので來十七日神嘗祭の佳辰をトし營業を開始する事に相成りました何卒倍舊の御愛顧を垂れさせられ度新築落成御披露旁々茲に謹んで懇願申し上げます。

尚ほ三階大廣間の宴會席御利用に就ては格安の御相談に應ずる外新設食堂部では

牛鍋御飯付　三十五錢　お酒一本　三十錢

で大々的の勉强を致します。

昭和七年十月

平町田町

石川亭

電話四三番

論壇

運賃値下の味方

更めて云ふ迄も無いが我が常磐炭界のアウトラインを云ふなれば之を昨六年の統計に徴するに年産約二百萬噸即ち月十八萬餘噸の出炭量を有し所謂地方の主要産業として其の振否は直に繋つて常磐大衆の生活に密邇の干係を有するのである

が數年來の不況は大小各炭鑛を驅つて未曾有の經營難に陥らしめ同時に之により前にボンと辭表を投げ出して生くる地方住民を苦惱のドン底に沈淪せしめ、今後假に現狀を以て推移するとせば其の結果眞に寒心に堪へぬものがある、而して斯の如き當面の難局を打開するには如何にしても甚しく高率で炭況の不振に拍車してゐる鐵道運賃の値下げに俟たねばならぬ事は茲に贅々する迄も無く今や餘りに明白なる事實として世人に知られてゐる、即ち販賣價格に對する運賃の割合を見るに去る昭和三年の上半期に於て二九と言ふ數字を示して居つたバーセンテージが今年上半期には三九%と云ふ驚くべき高率を示すに至つた事實によつて稽ふるも之が値下げの斷行はまさに刻下の急務と云はねばならない、而もその目的の爲出た新町長も頗る頑健、殊に各炭鑛に於ける自主的活動と地方選出代議士等の奔走により近來當局に於ても漸く之に聽從の色を示し來つたのは炭鑛の爲地方の爲眞に喜ぶべき事であるが此際更に何等かの方法によつて中央に於ける輿論の喚起に俟つに非んば到底より良き結果を期待する事が全然不可能事に非ずとするも蓋し可なり至難な問題と言はねばならない、之の意味に於て今回工業倶樂部諸の財政記者團を迎へて仔細に三大炭鑛の視察を求め、正しき角度から鐵道運賃の値下げが炭鑛の甦生上如何に輸鮪の急問題なるかの認識を求め得た事は願ふても無き絶好機會に逢着したものとして、炭鑛及地方の爲衷心喜悅の情に堪へざるものがある、敢て該問題の實現促進上新に一勢力を加へ得たるを祝福する

今は前の文字を冠するやうな釜の決まる迄には幾多の波瀾曲折を豫想されたに拘らず全然何等の陣痛もなく十六日の夕方迄に青沼新町長が安々生れ出でたとは之の上無い眞に特超高速度、之の亦寧ろ愕然、呆然、茫然たる電光石火的の運び方ではある、而も人工摘出などの無かつた丈けに生れた新町長も頗る頑健、殊に之を支持する二十九町議の豊富にして純良な母乳に育くまれ將來町政の運用に思ふ存分の手腕を縱横に延べ得る事は蓋し既定の事實である事云ふ迄も無い。天の時、人の和を得て、和氣藹々たる裡にいとも朗かな生ぶ聲を揚げた青沼新町長養蠶業組合其他關係筋で極と云ふ見込の下に或は意外

特超高速度に生れた 新平町長青沼鋒太郎氏

全町議の釋然たる支持を受けて

縱横の手腕發揮を期待さる

つたが土地生え抜きの氏を町長に迎へた平町は自治の本領から云つても誠に結構な事であると云はれてゐる。（寫眞は青沼新町長）

新舊町長事務引繼

新舊町長は今十八日午前九時から事務引繼ぎを行ひ終て生くる迄も無く平旅藩士、假に現狀を以て推移するとせば其の結果眞に寒心に堪へぬものがある、而して斯の如き當面の難局を打開するには如何にしても甚しく高率で炭況の不振に拍車してゐる鐵道運賃の値下げに俟たねばならぬ事は茲に贅々する迄も無く今や餘りに明白なる事實として世人に知られてゐる、即ち販賣價格に對する運賃の割合を見るに去る昭和三年の上半期に於て二九と言ふ數字を示して居つたバーセンテージが今年上半期には三九%と云ふ驚くべき高率を示すに至つた事實によつて稽ふるも之が値下げの斷行はまさに刻下の急務と云はねばならない、而もその目的の爲出た新町長も頗る頑健、殊に各炭鑛に於ける自主的活動と地方選出代議士等の奔走により近來當局に於ても漸く之に聽從の色を示し來つたのは炭鑛の爲地方の爲眞に喜ぶべき事であるが此際更に何等かの方法によつて中央に於ける輿論の喚起に俟つに非んば到底より良き結果を期待する事が全然不可能事に非ずとするも蓋し可なり至難な問題と言はねばならない、之の意味に於て今回工業倶樂部諸の財政記者團を迎へて仔細に三大炭鑛の視察を求め、正しき角度から鐵道運賃の値下げが炭鑛の甦生上如何に輸鮪の急問題なるかの認識を求め得た事は願ふても無き絶好機會に逢着したものとして、炭鑛及地方の爲衷心喜悅の情に堪へざるものがある、敢て該問題の實現促進上新に一勢力を加へ得

農家を霑すべく 絶好機會を逸す

養蠶指導當局に非難

四倉繭市場は昨十六日で閉場したが同日の取引は貫數百三貫、最高五十圓二十錢、最低三十五圓二十錢、貫馴四十圓三十錢で八月二十七日以來の總取引は（括弧内昨年）

貫數二萬六千八百七十二貫五百六十匁（三三、五四〇、八四〇）代金十二萬六千八百九十九圓三十三錢（九六、七七四、六四）最高六十二圓三十錢（三五、二〇）最低三十五圓（二三、〇〇）貫馴四十七圓三十錢（二八、八〇）で之を四倉繭市場の買馴四口數四千六十六口（二、七三七）

で縣の繭價調節政策から郡で明春まで此の相場が續く

情熱に驅られたとは言ひ乍ら何と失禮な事を申上げたであらう。それにも拘らずご立腹にもならず當方の請を御許容下され溫情こめたる御尊信、且つは颯爽たる御英姿又喜美子さんには態々御撮影下され御惠與に意に泣かざるを得ないのです。（後略）

◇愛兒を國家に捧げて尙ほ喜び得るこの大義心共に悲壯なる心境ではある言々句々これ皆血と涙の綴り致しました——藤田中尉殿

『別信』

藤田校長先生——渡邊喜美子さん、私はどうしたものかこゝまで書いて參りまして、あとはとても書き續くることが出來ません、御笑ひ下さいませ、さようなら十二月卅一日、山崎啓一。

藤田先生

子を偲ぶ切々たる親の心

◇愛兒を國家に捧げて尙ほ喜び得るこの大義心共に悲壯なる心境ではある言々句々これ皆血と涙の綴り讀してよく聲を上げて感泣致しました——藤田中尉殿請求に甘えて差上げます彼て君國に報いた、彼は身をするや遠く滿蒙の戰場に號だ、その心情を察して誰かは泣かざるものあらん哉

滿洲行

藤田中尉

—第九十七信—

（續）

◇御願ひ致し

藤田先生

子を偲ぶ切々たる親の心

◇愛兒を國家に捧げて尙ほ喜び得るこの大義心共に悲壯なる心境ではある言々句々これ皆血と涙の綴り讀してよく聲を上げて感泣致しました——藤田中尉殿請求に甘えて差上げます彼て君國に報いた、彼は身をするや遠く滿蒙の戰場に號だ、その心情を察して誰かは泣かざるものあらん哉

『別信』

藤田校長先生——渡邊喜美子さん、私はどうしたものかこゝまで書いて參りまして、あとはとても書き續くることが出來ません、御笑ひ下さいませ、さようなら十二月卅一日、山崎啓一。

藤田先生

子を偲ぶ切々たる親の心

◇愛兒を國家に捧げて尙ほ喜び得るこの大義心共に悲壯なる心境ではある言々句々これ皆血と涙の綴り讀してよく聲を上げて感泣致しました——藤田中尉殿請求に甘えて差上げます彼て君國に報いた、彼は身をするや遠く滿蒙の戰場に號だ、その心情を察して誰かは泣かざるものあらん哉

明春蠶激增

高値持續を豫想

力掃立減を督勵したのと桑葉不足の結果口數は三百二十九件を增加したに反し取引實數は六百六十八貫を減じ近年にない暴騰で長年の欠損を補塡すべく絶好機會に當面し乍ら養蠶家をして此種問題の絶無を斷せられぬ以上各町村關係者の戒心一番すべきは勿論、町村民に於ても充分之を監視するの要があると觀られてゐる

◇該事業に對する眞面目味が缺けてゐた爲町の土木委員と吏員が結托して醜問題を捲き起し關係者は今や悉く收容されたなどの事實さへあるので地方でも今後

若松大佐講演

けふ第二と磐中で

十五日華々しく平入りをした若松大佐は當日聚樂館に於て面接關係のある部下の吉澤少尉、山田一等兵の奮演をなした

匡救事業の完成に 協力の監視必要

他方面の失態に鑑み

一部識者が憂慮

苦惱に喘ぐ漁農山村の上に匡救事業を以て恰も各町村割一的に行はれた一種の仁政として其間之に對する不平町青年團分團對抗軟式野球大會は昨十七日午前九時から平第一、平商兩球場に於て開催、各町から繰り出した多數の應援團で頗る興味を呼んだが戰績次の如く結局二十二日の準決勝に、而も最近の實例として北海道野付牛町に於けるそれの如く該事業に對する眞面目味が缺けてゐた爲町の土木委員と吏員が結托して醜問題を捲き起し關係者は今や悉く收容されたなどの事實さへあるので地方でも今後

秋晴の揚土台上 各應援團で賑ふ

昨日の青年分團對抗野球

白銀5—3新川
南町9—0八保
紺屋4A—3田町
三丁目2A—1一丁目
胡麻8—5五丁目
紺屋10—0鍛冶
南町5A—1白銀

跳躍また跳躍に 新女性日本を表現

昨日の磐女運動會盛況

磐城高女第十九回陸上運動會は前夜の秋雨殘りなく晴れた昨十七日午前八時から開催されたが參觀者頗る多く非常な賑ひで就中同校學年代表競技、小學生の競技

（小學校リレー）1平第三
2山田　3好間
（百米）1平三高野弘子
2平二中村春子
（學年代表）優勝旗獲得——二年十八點、三年十六點、四年十二點、一年二點
（百米）1加藤菊江　2柏原カツ子　3神谷孝子
（走高）1赤塚千代子　2橋本テル　3山口よしみ
（五十米）1四家ヨシ　2石島トミ　3白土喜惠
（四百繼走）1三年　2二年　3四年　4一年

雨中の接戰

健保運動會了る

第四回健康保險被保險者運動會は一昨十六日午前九時から猛雨中磐中グラウンドに於て開催したが參加十三組男女工三百餘名で泥ねい中物凄い接戰を見せ午後二時閉戰した

小田、隅田川、丸ほん、片倉、川瀬、品川湯本、東洋曹達、平製氷、五十嵐、本間製綿、相花、日電夏、石城耐火煉瓦

濱通り捷つ

營林署野球試合

濱通り五營林署左記野球チーム對中通り同チーム對抗六日平署へ捜索方を願出た

最初の目算外れて 結局五分增收か

郡下の米作豫想

郡内米作況は七月中旬の分蕊當時平年作より一割五分乃至二割の增收確實と見られ至極樂觀されて居たのが九月上旬の開花期と同月下旬の結實期間中に於ける天候不順から粃が非常に多く現在一割增と認められるに至つたが鎌入れの結果尙ほ幾分減收の豫定なので結局平年作五分增の十八萬石位で落着くべく目下穀檢平支所で調査中であると

米再た下る

前回より十三錢安

大浦穀業倉庫十五日の定期米穀共同販賣は出荷百十五日午前八時から行はれ午後から小學校で質疑應答會を開いた

生産費調査　縣の米穀生産費調査は來月二日草野村役場で石井縣農林技師に依つて行はれる

各村收穫便り

入遠野稻刈指導　村農會主催で十八日から二日間行ふ

川部一割增收　此程刈り取りを終つたが大体一割强の增收であると

神谷質疑應答會　今十八日午前八時から行はれ午後から小學校で質疑應答會を開いた

落札したが前回に比し十三錢の安値である

三田稻門戰に 民報で觀覽團募集

自動車賃其他で計三圓

福島民報社主催の三田稻門戰は三十日、福島市營グラウンドで開催されるので目下同社平支局で團体觀覽者を募集中であるが會費は往復自動車賃、觀覽料共三圓であると

平區の金錢債務調停事務

漸次增加の形勢

平區裁判所の金錢債務臨時調停事務は過ぐるマルトモに於ける中島監督判事の講演合長が出席した

鳴子から

鳴子にて　山田生

當地の紅葉は既に見頃に有之候。川前の紅葉など思ひ出でられ、轉た懷舊の情切なるもの有之候。

により大に宣傳された形ち今十八日迄六件に達し今後の增加を豫想されてゐる

天狗連

二割減狩獵免狀の下附少一數は昨十七日現在合計六十二件で昨年より二割を減少した

自力更生の前提に 産業組合の改革

近來の成績頗る良好

郡産業組合では各町村の自ゝあり昨年十二月現在の組力更正策として休止狀態に合數二十二が二十五に組合ある玉川、大野其他組合の員七千五百五十六人が八千復活と既設組合の練磨に主二百餘名に出資額も若干增力を傾注した結果休止組合加し次第に勢力を擴大し組は全部復活し既設組合と共合員相互の利用に貢献しつに漸次相當な實績を擧げつゝある

本夫から訴へられた 彼女は今後何うなるか

平區の言渡し延期さる

姦通罪で懲役六ケ月を求刑されたる公友會なる名目の下に兎角の書籍の販賣廣告をなし各方面から九十五圓を騙取した事件は今十八日午前十時平區で訊問の後拘留されたが次回公判二十五日

妻子を殘して　内郷村宮嬉しい途行き坑夫宮川正安（三二）は十四日夜妻ミサ（三〇）と子供二人を殘して同村坑夫鈴木某内妻伊達郡月館村生れ吉村キクエ（二八）と駈落したので昨十七日ミサから平署に捜索方を願ひ出た

吉田眼科病院

諸病定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神號館
▲一白の人　他の惑ひなく容れ或は共同して事を謀れば吉▲二黑の人　一時の對策に目昇に付けても後の爲ならず▲三碧の人　遲緩算段は次第に身の詰となる根本を正せ▲四綠の人　萬事に手遊ひある日沈滯に策を施さるべし▲五黃の人　急功を願はず成行に任せて進むが安全なり▲六白の人　機熟して進出すべき日起業開店移轉等に吉▲七赤の人　諸事有利に展開する日熟心努力せらるべし▲八白の人　進むべき事も控へ止まるべきは止るが勝ち▲九紫の人　温健忠直に本分を盡さるれば相當に榮達す

新水曜日
十月十九日
癸酉　九紫
二黑　八白
月建　佛滅
平　丑
日輪宿